

2017年3月23日
富士通エフ・オー・エム株式会社

Makeblock 社製「mBot」を使ったロボットプログラミング書籍を販売開始 ～mBot 初の公式テキストを FOM 出版から発売～

富士通エフ・オー・エム株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：大森 康文)は、mBot(エムボット：Makeblock 社製の組み立てロボットキット)を使ったロボットプログラミング基礎教育用書籍を、2017年3月23日(木曜日)に発売します。



『Makeblock(注1)公式 mBot で楽しむ レッツ! ロボットプログラミング』表紙

時代を超えて普遍的に求められる力としての「プログラミング的思考」を育むことを目標に、2020年度から小学校において必修化となるプログラミング教育。なかでも、児童・生徒が取り組みやすい題材として、ロボットを作り、プログラミングを楽しく学ぶことができるロボットプログラミングが注目されています。

本書は、mBot(注2)を動かしながら小さな目標を達成する体験を積み重ね、プログラミング的思考を育成することを目的としたmBot初の公式テキストです。

【商品の特長】

1. mBot 初の公式テキスト

mBot は欧米の小学校に評価され世界各国で販売、日本でも2016年12月に販売開始となりました。これまで公式テキストはありませんでしたが、今回初の公式テキストとして、FOM出版が発売します。

2. 小学生向けのプログラミング教材としてわかりやすく解説(ルビ付き)

mBot の組み立てから、「mBlock(注3)」を使ったプログラミングまでを学習します。小学生の読者を想定して、大きな文字で構成し、ルビを入れ、語りかけ調の親しみやすい文体にしています。

3. 楽しみながら論理的思考・創造性・問題解決能力を育成できる

mBot のライトを光らせたり、音楽を鳴らしたり、障害物にぶつからないようにしたりと

いった操作を、プログラミングを通して学習します。実際に mBot を色々な形で動作させることで、楽しみながら自ら考えて学習し、論理的思考・創造性・問題解決能力を養うことができます。

4. mBot の組み立て方の解説動画など、3 種の購入特典をご提供

本書購入特典として、以下 3 点をご提供します。

- (1) mBot を組み立てるコツを動画で確認できる「解説動画(ネット配信・約 20 分)」
- (2) mBot にお面として付けて利用できる「フェイスデザインテンプレート(PDF ダウンロード提供)」
- (3) mBot の動きを計測するときに便利な「メジャー・分度器(PDF ダウンロード提供)」

【商品情報】

商品名	Makeblock 公式 mBot で楽しむ レッツ! ロボットプログラミング
本体価格	1,800 円(税抜)
ISBN	978-4-86510-316-8
型番	FPT1628
仕様	B5 変型判 191 ページ
発売日	2017 年 3 月 23 日(木曜日)※書店での発売は 3 月末を予定しています。
内容 URL	http://www.fom.fujitsu.com/goods/robo/fpt1628.html

【商品のご購入】

当社運営の直販 Web ストアおよび、全国書店、各種 Web ストアにてご購入いただけます。

<当社運営の直販 Web ストア>

- ・ FOM ダイレクト : <https://directshop.fom.fujitsu.com/>
- ・ FOM 出版楽天市場店 : <http://www.rakuten.co.jp/fomshuppan/>

<各種 Web ストア>

- ・ Amazon.co.jp : <https://www.amazon.co.jp/dp/4865103163/>
- ・ 楽天ブックス : <http://books.rakuten.co.jp/rb/14773056/>

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

【会社概要】

会社名 : 富士通エフ・オー・エム株式会社
所在地 : 〒105-6891 東京都港区海岸 1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー14F
代表者 : 代表取締役社長 大森 康文
設立 : 1981 年 7 月
事業内容 : ICT 利活用・業務システムなど研修サービス事業、プロモーション支援事業、
ICT 利活用テキスト・解説書・e ラーニング教材などの出版事業
URL : <http://www.fujitsu.com/jp/group/fom/>

【注釈】

(注 1) Makeblock 社について

中国のロボット教材メーカー。自社製ボードとアルミ製のパーツ、センサーやモーターなど 400 種以上の電子部品を組み合わせ、様々な形態のロボットや、3D プリンタ、プロッターなどを作製できるキットの製造・販売を行っている。自社製品である「mBot」は、欧米の小学校に評価され既に 100 カ国以上で販売され、2016 年 12 月より日本でも販売開始となった。

(注 2) mBot について

教育用のロボットキット。超音波センサーやラインセンサーなど本格的な部品を使用し、簡単な組み立てとビジュアルプログラミングでリモートコントロール可能なロボットが組み立てられるキットである。プログラミング、エレクトロニクス、ロボット工学を楽しみながら学ぶことができ、STEM 教育^(※)を学ぶことができる設計になっている。

対象年齢は 8 歳以上で、小学生から大学生まで幅広く利用されている。

※STEM 教育：Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)の 4 つの理工系分野を重点的に学習する教育モデルのこと。

(注 3) mBlock(エムブロック)について

「Scratch(スクラッチ)」というビジュアルプログラミング言語をもとにして、mBot に命令ができるように設計されたビジュアルプログラミング言語のこと。

【本件に関するお問い合わせ先】

富士通エフ・オー・エム株式会社

FOM ダイレクトセンター

TEL : 0120-81-8128(フリーダイヤル 平日午前 9 時～午後 5 時)

E-Mail : fom-shop@cs.jp.fujitsu.com

(添付画像)

大きな文字とルビ

親しみやすい表現で楽しく学べる!

ひとつずつステップを重ねて学習

実際に操作して、達成感を実感

「注意」「チャレンジ」「保護者の方へ」
操作上の注意点、さらなるチャレンジ内容、
保護者の方へのアドバイスは、別枠で掲載

自ら考えて学習し、論理的思考・
創造性・問題解決能力を養う

図 1. 書籍のセールスポイント

08 mBlockを使ってみよう

mBlockの基本についてわかったところで、実際の使いかたを確認してみよう！
ブロックを1つずつ動かしていきただけで、かんたんにプログラムが作れるよ！

mBlockを操作する前に

これまでに、mBlockの基本的な画面の見たや、ブロックの種類について確認してきたね！
ここからは、実際にmBlockを操作してみよう！
mBlockでは、ブロックをマウスで動かしたりするだけで、かんたんにプログラムが作れるんだ。
だからまず、マウスの使いかたを確認しておこう！

- ・クリック**
クリックは、マウスの左側のボタンを1回押してすぐ離すことだよ。
クリックをすると「カチッ」と音がするよ。
- ・ダブルクリック**
ダブルクリックは、マウスの左側のボタンをすばやく2回続けて押し
て離すことだよ。ダブルクリックをすると「カチカチッ」と音がするよ。
- ・右クリック**
右クリックは、マウスの右側のボタンをクリックすることだよ。
- ・ドラッグ&ドロップ**
何かにマウスポインターを合わせて、マウスの左側のボタンを押した
ままマウスを移動して、別の場所ですボタンを離す操作のことだよ。
ブロックを移動させるときなどに使うんだ。

プログラミングの流れ

プログラムを作るには、ブロックパレットから、ブロックをスクリプトエリアに移すんだ。
ブロックをドラッグ&ドロップすると、スクリプトエリアに移動できるよ。そのブロックを上か
ら下に向かって積む（スタック）していくことで、プログラムを作っていくんだ。

ハットブロックの「きっかけ」によって、積んだブロックの指示を実行するよ。
下の例だと、緑色の旗（旗のマーク）をクリックすると、プログラムが実行されるよ。

実行中のプログラムを止めたいときは、緑色の旗の右にある赤い三角のボタンをクリックしよ
う。そうするとプログラムが止まるよ。

図 2. 紙面(第 4 章 : mBlock を操作してみよう より抜粋)